

市有地の福祉活用拡大

可児市が3事業所に無償貸与

障害者支援施設を整備

可児市が障害者福祉施設の整備推進のため進める、市有地の民間事業者への無償貸与で、新たに、11月までに3事業所と30年間の無償貸与契約を締結、それぞれ障害者のグループホームや就労移行支援施設が整備される。

(鈴木隆宏)



地鎮祭で玉串をささげる日比野邦彦園長＝可児市東帷子

12日は第1弾とし、福祉法人可茂会障害者市瀬田)の男性知的障害者向けグループホームの地鎮祭が行われ、日比野邦彦園長が「工事の安全と無事の完成をお願いする」とあいさつした。

グループホームは定員5人。鉄骨平屋、約180平方メートル。投資額は5200万円で、公益財団法人JKAからの補助を受けて行う。来年4月にオープンする。同学園はすでに同所で市から土地の無償貸与を受けており、女性の知的障害者のグループホームや障害者が

作るパン屋などを運営している。今回、その敷地内にグループホームを作るに当たり、新たに市と契約を結ぶ。今後、11月上旬に可児の就労移行支援施設の建設が始まる。